

事業番号	- 2	事業名	広報活動事業				
所管	市長公室	局	広報	部	広報	課	
【検討委員の主な意見等】							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報さかい（紙媒体）は今後も重要な媒体であるが、カラー面数の削減や記事の精査によるページ数の削減を検討すべき。 ・ ケーブルテレビ広報番組及びテレビ広報番組については、常に効果検証を行いながら改善を図ってほしい。成果や効果が明確にできないのであれば、廃止も含めて検討をすべき。 ・ 市外に向けた情報発信を目的とするなら、ホームページを活用した動画配信を行うことにより、その役割を果たせるのではないか。 ・ 広報さかいとホームページを広報活動の柱にすべき。 							
【評価区分】「主な具体的強化策」、「主な具体的改善策」は市民審査員からのご意見です。					審査員	検討委員	
市で実施（現行どおり）					0	0	
市で実施（強化・拡充）					1	0	
主な具体的強化策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に見る人が増える内容にしてほしい。 						
市で実施（要改善）					15	5	
の事業主体・手法の改善策	民間への委託を進める					(0)	(0)
	市民との協働を推進する					(2)	(2)
	市が直接実施するのではなく、補助金等を支出して、他の事業主体（担い手）で実施する					(0)	(0)
	その他					(0)	(1)
事業実施の改善策	事業の実施内容を見直す					(8)	(3)
	他の事業との統合・再編を検討する					(0)	(1)
	事業規模を見直す（サービスの水準や対象者等）					(2)	(1)
	市以外からの財源の確保を図る					(0)	(0)
	サービス受給者の自己負担を見直す					(0)	(0)
	PRを強化して、事業の周知を図る					(1)	(0)
その他					(2)	(0)	
主な具体的改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケーブルテレビは番組を充実して続けていければと思う。テレビ広報は全国的から見て魅力あるまちづくりと並行して進められるなら継続も有りと思う。 ・ テレビ広報では、さらに具体的な堺の動向を知らせてほしい。 ・ テレビ広報番組とケーブルテレビ広報番組の契約の見直しを行うべき。 ・ テレビ、ケーブル等は再考の必要あり。特にケーブルテレビについては、見ている世帯数が少ないのではないか。 ・ ケーブルテレビ、テレビ広報は廃止し、広報さかい、ホームページの強化・拡充。 ・ 広報さかいは内容を見やすく簡潔にして、ページ数削減。テレビ広報はホームページのみにするべきだ。 ・ 広報さかいは、内容が充実しているので現状のままで良い。 ・ 広報さかいの配布等は現状維持で良いと思うが、カラーである必要性はないと思う。 						
実施主体の見直し					0	0	
選択の理由	民間の方が効果的・効率的にできる					(0)	(0)
	国や府で統一的に実施する方がよい					(0)	(0)
	他の自治体と広域連携で進めるほうが効果的・効率的にできる					(0)	(0)
	その他					(0)	(0)
事業は不要					0	0	
選択の理由	行政で行う役割は終了している（事業開始当初の目的は既に達成されている）					(0)	(0)
	時代の変化に伴う課題やニーズ（需要）を反映していない					(0)	(0)
	事業の目的を達成するには、別の手段を考える方がよい					(0)	(0)
	サービス受給者の自助努力に任せるべき（税金を投入する必要はない）					(0)	(0)
	効果がない（低い）					(0)	(0)
	その他					(0)	(0)

各評価の内訳人数は、2つ以上の選択のあるものについてはカウントしていない。